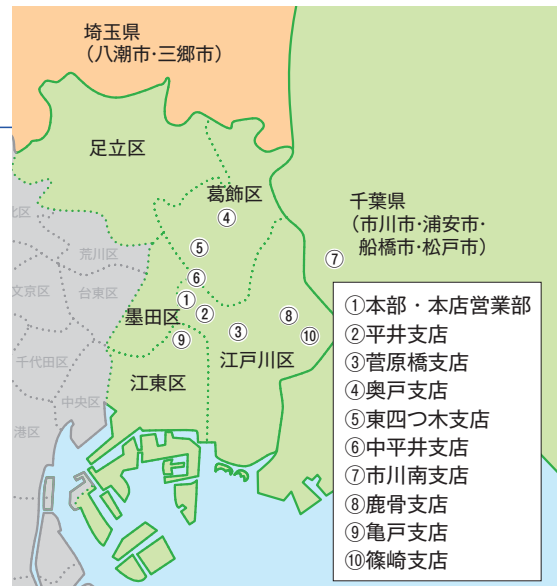


地域の皆様のお役に立ちたい！ 地域をもっともっと元気にしたい！

これが私たち役職員の使命と考えています！



こましんの地域活性化への取組みについて

こましんは、東京都城東地区（江戸川区、江東区、墨田区、葛飾区、足立区）、千葉県西部（市川市、浦安市、松戸市、船橋市）、埼玉県南部（八潮市、三郷市）を営業地区とし、都内信用金庫の中でも最古の歴史を有する相互扶助型金融機関です。

こましんでは、「三者共栄」（お客様・職員家族・金庫）を経営理念として、地域のお客さまからお預かりした大切な預金を、地域で資金を必要とされている方々にご融資し、暮らしや事業のお手伝いを通して、地域になくてはならない「地域貢献バンク」をモットーに地域社会の活性化に積極的に取り組んでおります。

経営改善支援に対する実践力強化の取組み

こましんでは、企業先等の相談・支援による経営改善の支援、あるいはスキルアップを図るため、審査能力・相談支援能力向上を目的とした勉強会等を本部業務部が中心となり外部の税理士や中小企業診断士等と連携を図りながら実施しております。また、経営改善支援に係る取組みを業績評価項目に加えるなど、企業支援体制の充実・強化を図っています。

また、監督当局の協力の下、「事業性評価・経営者ガイドライン」の審査能力向上に繋がる勉強会なども実施しています。

経営改善支援の取組み

こましんでは、営業店と企業支援専担部署の連携による取引先に対する経営改善支援の取組みに加えて、外部の中小企業診断士等の活用を図るなど、取引先企業に対する経営相談・支援に取り組んでいます。企業支援先に係る外部の中小企業診断士への報酬費用も当金庫で負担するなど、取引先企業に対して可能な限りのサポートに努めています。

経営状態の厳しい先を中心に経営改善支援先を選定していることから、平成26年度において経営改善支援先の債務者区分のランクアップ実績は1先に留まっておりますが、今後も定期的なモニタリングの実施など長期的なスタンスでフォローアップを行ってまいります。

また、外部支援機関との連携・活用については、可能な限り取引先企業に負担がかからない公的支援機関の持つ機能を多岐に亘って利用しています。（江戸川区経営相談室・東京商工会議所、関東経済産業局等）

平成27年度は、中小企業再生支援協議会および中小企業基盤整備機構、日本政策金融公庫とも連携強化を推し進め、また活用可能な案件があればREVIC（地域経済活性化支援機構）の活用も検討します。

金融円滑化の取組み

25年3月末で「金融円滑化法」は期限到来となりましたが、こましんでは、引き続き金融の円滑化については、地域金融機関として恒久的な取組みと考えており、円滑な資金供給や取引先からの条件変更等のご要望にこれまで通り真摯に対応を行ってまいります。

◆「こましん経営者会」・「こましんビジネス研究会」を開催

こましんでは、「経営者会」の他、次代を担う若手経営者育成のお手伝いを目的とした「ビジネス研究会」を定期的に開催し、取引先企業のお役に立つ情報発信に努めるとともに、参加企業間の親睦・ビジネス機会創出の取組みを実施しています。

◆ビジネス機会の創出や課題解決に向けて「ビジネス交流会」・「新現役交流会」を開催

シグマバンクグループ（足立成和信金・亀有信金・東榮信金・当金庫）の業務提携活動として平成26年8月に第6回シグマバンクグループ「ビジネス交流会」を開催いたしました。当日は約270社の参加・来場者約600人と盛況となりました。当金庫の取引先については、商談成果として参加63社中で15件のマッチング実績を挙げております。平成27年度は8月に第7回となる「ビジネス交流会」を開催いたします。

また、シグマバンクグループの業務提携活動として、各金庫単位で「新現役交流会」を実施しました。これは、豊富な実務経験や専門性のある人材が不足しがちである取引先中小企業と新現役（企業を退職した人、退職予定者など）との「人材マッチング」を行う取組みであります。当金庫は平成26年7月に実施し、参加企業19社のうち8社が新現役とのマッチングに至るといった成果を挙げています。

◆補助金・助成金制度説明会実施

中小企業支援策として、国や地方公共団体等が様々な補助金・助成金制度を設けています。当金庫は、「経営革新等認定支援機関」として、取引先事業者これらを広く周知する役割を担っております。27年3月には外部講師（中小企業診断士10名）を招き、取引先を対象とした「補助金・助成金制度説明会」および「個別相談会」を開催し、約30名の当金庫の取引先事業者にご参加いただき、4件の採択実績を上げるなど成果が出ています。今後も、このような周知活動・利用促進を図るべく、積極的且つ継続的に情報発信を行ってまいります。

◆こましんトラック担保融資

当金庫営業地域内の中小企業者（法人・個人）が、新たに購入するトラック等の車両や既に購入している車両を担保として、トラック購入資金や事業資金（運転・設備資金）についてオリックス自動車㈱との保証契約により融資を行うものです。

この商品はいわゆる「動産担保融資（ABL）」であり、不動産以外の動産を担保にすることで、資金調達手段の多様化に資することを目的としたものであり、保証会社による100%保証付の商品です。

◆事業承継 M&A仲介アドバイザー業務

後継者問題を抱える取引先あるいは事業の多角化等を考えている取引先に対するコンサルティング機能の充実、ソリューション機能（友好的M&Aによる資産整理など）の発揮に資するべく、信金キャピタル㈱と24年3月に業務提携を実施しました。

また、25年4月には中小企業の「事業引継ぎ支援」として東京商工会議所と「業務連携・協力に関する覚書」を締結しました。

平成26年度における経営改善支援等の取組み実績

[26年4月～27年3月]

(単位: 先数)

(単位: %)

	期初 債務者数 A	うち 経営改善 支援取組み 先数 α	αのうち期末に 債務者区分が ランクアップ した先数 β	αのうち期末に 債務者区分が 変化しなかった 先数 γ	αのうち 再生計画を 策定した先数 δ	経営改善支援 取組み率 α/A	ランク アップ率 β/α	再生計画 策定率 δ/α
正 常 先 ①	1,200	0		0	0	-		-
要 注 意 先	うちその他要注意先 ②	952	47	0	42	4.9%	0.0%	91.4%
	うち要管理先 ③	16	3	1	2	18.7%	33.3%	100.0%
破 綻 懸 念 先 ④	24	4	0	4	4	16.6%	0.0%	100.0%
実 質 破 綻 先 ⑤	29	0	0	0	0	-	-	-
破 綻 先 ⑥	10	0	0	0	0	-	-	-
小計 (②～⑥の計)	1,031	54	1	48	50	5.2%	1.9%	92.5%
合 計	2,231	54	1	48	50	2.4%	1.9%	92.5%

(注)・期初債務者数及び債務者区分は26年4月初時点です。

・債務者数、経営改善支援取組み先は、取引先企業(個人事業主を含む。)であり、個人ローン、住宅ローンのみの先を含みません。

・βには、当期末の債務者区分が期初よりランクアップした先数を記載しております。

なお、経営改善支援取組み先で期中に完済した債務者はαに含めるもののβに含めておりません。

・期初の債務者区分が「うち要管理先」であった先が期末に債務者区分が「うちその他要注意先」にランクアップした場合はβに含めております。

・期初に存在した債務者で期中に新たに「経営改善支援取組み先」に選定した債務者については(仮に選定時の債務者区分が期初の債務者区分と異なっていたとしても)期初の債務者区分に従っております。

・期中に新たに取引を開始した取引先については本表に含めておりません。

・γには、期末の債務者区分が期初と変化しなかった先数を記載しております。

・みなし正常先については正常先の債務者数に計上しております。

・「再生計画を策定した先数δ」＝「中小企業再生支援協議会の再生計画策定先」＋「RCCの支援決定先」＋「金融機関独自の再生計画策定先」

平成26年度における創業・新事業支援融資実績

件 数	10 件	金 額	47 百万円
-----	------	-----	--------

平成26年度における個人保証・不動産担保に過度に依存しない融資の取組み実績

件 数	173 件	金 額	838 百万円
-----	-------	-----	---------